

第8回 松本市長と車座集会「みんなの尼活皆議」

< フリートーク型 園田地区にお住まいのみなさまと >

対話録概要

と き	令和6年8月28日（水） 午前9時30分から午前11時30分まで
と ころ	園田東生涯学習プラザ 1階地域振興センター会議室
出席者	参加者 15人、市長ほか関係者 8人 計22人

【市長のあいさつ】

本日は子育て世帯の方々にも複数人来ていただいております、いろんな意見をいただければと思う。

自分自身が市長になって8回目の車座集会である。参加者やテーマを特定し開催するものや、公募により可能な限り自由なテーマで開催するものがある。昨年度は前者の手法により4回開催したが、今年度は後者の手法により各地域でも開催していくこととしており、園田地区はその3回目である。本日は皆さんから多様な意見をもらい、市政運営の改善へとつなげていければと思う。

【意見交換】

<参加者>自身が新米ママのときは子どもを預けるところがなく、また、同じように子育てママ同士が集まる講座をしたいと思っても施設利用に関する条件も厳しく、思ったように活動ができなかった。今はプラザなどでいろんな活動ができるようになった。自分としては新米ママがもっと過ごしやすくなるような仕組みが整っていけばいいなと思っている。

<参加者>園田エリアは転入者が多く、また地方から来ている方も多い。当然、最初は地域とのつながりもないので、お母さんたちがすごく困っている。市は子育て支援施策の推進を掲げ、取り組んでいることはすごく嬉しい。一方で、ファミリー世帯の転入による児童数の増で、上坂部小や園田南小などの校舎がパンクしているという問題があり、長期的な展望を持って学校施設の整備などにあたってもらいたい。

<市長>尼崎市は高度経済成長期のときの人口増を背景に学校をたくさん作ってきた。しかし、ここ20年程度は人口減により統廃合を進めてきた。民間企業、民間住宅開発に人口は大きく左右され、例えば、多くの方が勤める工場が撤退すると大きな人口減少にもつながる。それを受け対応している行政はどうしても場当たり的に見られてしまう。そのため、企業や住宅の情報をきちんと把握していかなければと思う。また、上坂部小や園田南小の教室や児童ホームも足りていないということは認識しており、早めの対策を打っていこうとしている。

<参加者>JR 塚口駅周辺はマンション開発が進んでいることもあり、多くのファミリー世帯が住んでいるが、近くに公共施設がない。園田西生涯学習プラザも遠いため、行政の取組に関わらず地域団体や子育てサークルの取組などについては、JR 塚口エリアの方々も参加しやすいよう出張形式にすることを願いたい。

<市長>民間事業者が大規模開発を行うときに、子育て支援施設を必ず開発エリア内に設置するなど誘導をかけていこうと現在、検討を進めている。全てを公共で実施するのではなく、民間による開発も誘導することで、子育てしやすいまちを目指していきたい。JR 塚口駅周辺でファミリー世帯が

増えていること、近くに公共施設などの拠点がなく念頭に入れて考えていきたい。

〈参加者〉学校給食に関して、農薬が使われて育った食材を取り入れていることを問題視している。農薬は神経に作用することがあり、子どもたちの健全な発達を妨げるものであると思っている。また、水道に関してはPFASが全国的に問題視されている。子どもたちが安心して学校生活を送るためにも浄水器の設置を検討してもらいたい。

〈参加者〉有機の作物を作る農家の方々も高齢化が進んでおり、体力的にも厳しいため、例えば市内の学生に農作業を手伝ってもらい、作物の一部をお礼で提供するような仕組みがあればいいと思う。

〈市長〉有機農業は環境に配慮して信頼感の高い作物を生産できるといったメリットがある一方、認証には厳しい検査があり、収量や品質を安定化させることが難しいというデメリットもある。尼崎市は有機野菜を使った給食はまだ提供できていないが、少しずつでも取り入れていきたいという考えはある。PFAS問題に関しては定期的な水質検査で基準値はクリアしている。学校で子どもたちに供給される水は水道管から直接引き込む管があったり、一度貯留タンクを経由し、供給する場合もあるが、いずれも法に基づく検査を定期的の実施し、安全を確認している。農家と学生のコラボは是非でいいと思う。

〈参加者〉農地がどんどん宅地に変わっていったことが課題であると感じる。

〈市長〉市内の農地は生産緑地という市街化区域内の農地という位置づけである。農水省はビニールハウスの設置や耕運機の調達に関する支援を行っているが、生産緑地は対象外になることが多い。農地があることによって、多様な生き物の生息環境が守られたり、都会の中の緑を維持することは大切であると思っている。また、災害時に必要となる貯水機能も有しており保存していきたいと思っている。

〈参加者〉農業公園の最大の魅力であるバラ園を正面に配置して欲しい。またかつては井戸水を汲み上げ、自然流下のせせらぎがあり再現して欲しい。こうした点についてワークショップがあれば参加させてもらいたい。

〈市長〉農業公園という名前ではあるものの、農業だけが目的ではない。子どもたちがセミやザリガニを取って遊んだり、近くの老人福祉施設の方が散歩したりと多目的な施設に磨きをかけていきたい。

〈参加者〉園田地区には子ども、高齢者の居場所は多数あるが、不定期開設のところが多い。自分は常設で誰でも参加できる地域の居場所が大事であると思っている。こうした居場所は孤独や疎外を感じる人の助けになり有用であると思うが、維持することや活動の広がりには周りの手助けが不可欠である。またこうした地域資源を知る仕組みも必要であると思う。

〈市長〉市役所はこれまで、高齢者や女性など、ターゲットごとにハード整備をしてきた。ただ、相当な規模の予算が必要となる中、今は誰でも利用してもらえるプラザを整備するなど効率的な施設整備を進めている。ただ、施設の機能集約により距離が遠くなるといった課題を抱えている中で、地域の方々の活動によって成り立つ地域資源は地域力に繋がると考えている。

〈参加者〉山手幹線の延伸を強く希望している。大阪と兵庫間の行き来がしやすくなる。

〈市長〉尼崎市域内での整備は全て終わっている状況にある。大阪市域の整備が課題であるが、尼崎市としては早期延伸を望んでおり、これまで国や県にも働きかけを行うなど精力的に取り組んできた。その結果、府と豊中市と鉄道事業者が整備に向けた協定を結ぶなど着実に進んでいると思って

いる。山手幹線規模の整備ということで、時間はかかるかもしれないが粘り強く進捗を見守り、本市にできることは積極的に取り組んでいきたい。

〈参加者〉路上喫煙禁止に関して、路面標示などをするべきと考える。

〈市長〉喫煙に関して、公共施設など建物内での喫煙禁止は県の条例で、また、市内全域の歩きたばこの禁止は市条例で定めている。また、市では路上喫煙禁止区域の指定を市内に13か所ある駅前を中心に進めているところであり、更にこの9月には市条例を改正の上、路上喫煙対策を強化していきたいと考えている。路面標示などの啓発に関しては、駅前の景観などにも配慮しながら効果的な啓発を今後進めていく予定としている。

【おわりに】

〈市長〉いただいた意見については、今後の市政運営の参考にさせていただく。市の組織は大きいと言えど、庁内職員とコミュニケーションを図りながら、意見の市政への反映を検討していく。

以 上